ワインボトルの真紅のラベルは、情熱的、独創的、かつ実績に裏付けられたパイパー・エドシックの上品さを象徴している。パイパー・エドシック社は映画館のカーペットにも自社のイメージカラーである赤に大胆に反映させ、過去何十年にもわたり自社と映画産業とのイメージを定着させてきた。

カンヌ国際映画祭の公式サプライヤ(1993年～)をはじめ、パイパー・エドシックはベニス、東京、ボストン、ロンドン、サン・セバスティアンなど世界各都市の映画祭やシネマテーク・フランセーズなどの映画施設の活動支援をしてきており、また2013年からはアメリカン・シネマテークの名誉パートナーに名を連ねている。

アメリカン・シネマテークはフィルメックス・ロサンゼルス・映画祭から1981年に派生した組織で、現在は例年の映画祭を主催しているほか、過去から現在までの古典から前衛芸術にわたる世界中の映画・動画・テレビ作品を上映し続けている。

アメリカン・シネマテークは、映画文化全般に関わるセレモニーや展示会を主催するだけでなく、映画愛好家や学生のために世界中から映画作家、俳優、脚本家、編集家、カメラマンなど映画界の著名人を招き講演会を開催する活動を行っている。